様式例－評5　評議員会決議(報告)の省略　議事録

社会福祉法人〇〇〇　〇〇年度第〇回評議員会議事録（定時評議員会）

　○年○月○日、理事長〇〇〇〇が評議員の全員に対して評議員会の決議の目的である事項について提案書を発し、当該提案につき評議員全員から書面により同意の意思表示を得た。これにより本件については、社会福祉法第45条の9第10項により準用される一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条の規定（評議員会の決議の省略）に基づき、評議員会決議の省略により当該提案を可決する旨の評議員会の決議があったものとみなされた。

また併せて、同日付で理事長〇〇〇〇が評議員の全員に対して評議員会に報告すべき事項について通知書を発し、当該通知を要しないことにつき評議員全員から書面により同意の意思表示を得た。これにより本件については、社会福祉法第45条の9第10項において準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第195条の規定（評議員会への報告の省略）に基づき、評議員会への報告の省略により当該報告が評議員会への報告があったものとみなされた。

上記事項を明確にするため、本議事録を作成し、議事録作成者が記名押印する。

記

1　評議員会の決議があったものとみなされた事項の内容

及び評議員会への報告があったものとみなされた事項の内容（別添提案書兼通知書のとおり）

　　決議事項　第1号議案　〇〇年度決算承認（計算書類・財産目録の承認）の件

〇〇年度決算報告書（計算書類・財産目録）が承認された。

　　　　　　　第2号議案　定款変更の件

〇〇園の拡張のために取得した土地を定款の基本財産に追加するため定款変更を行う　ことが承認された。

報告事項　報告第1号　〇〇年度事業報告の件

　　　　　〇〇年度事業報告について報告がなされた。

2　評議員会の決議があったものとみなされた事項を提案した者の氏名

　　理事長　〇〇〇〇

3　評議員会の決議があったものとみなされた日及び評議員会への報告があったものとみなされた日

　　〇〇年〇月〇日

　　評議員の全員（〇名）の同意書は別添のとおり。

　　なお、提案事項について特別の利害関係を有する評議員はいなかった。

4　評議員会議事録の作成に係る職務を行った者の氏名

　　理事長　〇〇〇〇

　　年　　月　　日

【注意】

・本様式例は、会社法の例等を参考に、決議の省略と報告の省略を兼ねる議事録となっています。

・「報告の省略」に関する部分は、黄色マーカー表示となっています。報告事項がない場合は、マーカー部分を削除してください。

　　議事録作成者

　　　　社会福祉法人〇〇〇

理事長　〇〇　〇〇　印

【様式例に関する補足】

・提案書様式例の補足と同様、「決議の省略」と「報告の省略」については、厳密には法上の根拠条文が違うため、本来は別々に処理することになりますが、本様式例については、実務上の観点から、それぞれを併用する場合を想定して作成しています。（それぞれの手続きを、別々の書式で作成することも可能です。）

・「決議の省略」と「報告の省略」の議事録については、議事録署名に関する決まりはありませんが、議事録の管理上、議事録作成者として、理事長名での署名等を行うのが一般的です。

・それぞれ議事録記載事項は以下のとおりです。

（評議員会決議の省略の議事録記載事項）

ア 評議員会の決議があったものとみなされた事項の内容

イ アの事項の提案をした者の氏名

ウ 評議員の決議があったものとみなされた日　※全員の同意があった日

エ 議事録の作成に係る職務を行った理事の氏名

（評議員会報告の省略の議事録記載事項）

ア 評議員会への報告を要しないものとされた事項の内容

イ 評議員会への報告を要しないものとみなされた日　※全員の同意があった日

ウ 議事録の作成に係る職務を行った者の氏名